allcinema

ガメラ２　レギオン襲来（1996）

GAMERA 2: ADVENT OF LEGION
GAMERA 2: ASSAULT OF THE LEGION［米］

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　特撮
製作国　日本
色彩　Color
時間　99分
初公開日 1996/07/13

【解説】
　突如地球に降り注ぐ流星雨。だが北海道支笏湖付近に墜落した隕石はクレーターだけを残しその形跡を消していた。生物汚染を危惧する自衛隊化学学校の渡良瀬と花谷は追跡調査を続けるが、工場から大量の瓶が消失している事件に遭遇。隕石の墜落現場で出会った青少年科学館学芸員・穂波からはファイバーケーブルも同様に消失している事を聞く。何かが支笏湖から札幌に向かって移動しているらしい。その時、地下鉄構内で巨大な昆虫によって乗客が襲われる事件が発生、隕石に付着していた宇宙からの生命体である事が判明する。そして時同じくして付近のビルの中から巨大な花が出現した。群れ成すものーーレギオンと名付けられた昆虫を一掃する爆破作戦が開始されたが、穂波がＮＴＴの帯津に算出してもらった被害シミュレーションでは現場の高濃度酸素が災いして札幌壊滅の可能性が出ていた。その時、三陸沖からガメラが突然浮上。ガメラは周囲の酸素を吸い込むやプラズマ火球を発し、草体と呼ばれる巨大な花を破壊した。だが草体と共生関係にあるレギオンの群れがガメラを襲い、傷ついたガメラは緑の血を振り撒きながら飛び去った。一方、草体の破壊された現場からは巨大レギオンが飛び立ち、航空自衛隊の攻撃を受けたものの撃墜の確証は得られなかった。レギオンがシリコンを餌とし電磁波でコミュニケーションを取る事、草体はレギオンの巣別れを兼ねた星間種子である事、その種子打ち上げの際に周囲を徹底的に破壊する事などが次々と判明していき、渡良瀬と穂波は札幌－東京間の大都市・仙台が次の目標となる事を推測。はたして仙台市の只中に草体が現れた。飛来したガメラも地底より現れた巨大レギオンによって足止めを喰らい、すでに種子打ち上げの段階に入った草体爆破は不可能となった。傷ついたガメラはなんとか草体を倒したが、種子打ち上げのための大爆発は起きてしまう。仙台は壊滅し、爆心地には息絶えたガメラの骸だけが残された。自衛隊が足利に最終防衛線を展開する中、穂波と浅黄は仙台に赴き、子供たちとガメラを囲む。そして遂に赤城山中からレギオンが姿を現し、圧倒的な火力で戦車部隊をなぎ払っていく……。
　『ガメラ　大怪獣空中決戦』の好評を受けて登場したシリーズ第２弾。今回は、惑星そのものの生態系を侵略しようとする宇宙生物というスケールのより大きい新怪獣を迎え、本格ＳＦ映画の様相を呈している。「戦争大作を目指す」という監督の言葉に偽りはなく、突如現れた宇宙怪獣とそれに対抗する自衛隊の姿が徹底的に描かれる。前作ではまだ完璧とは言い難かった特撮も遥かにパワーアップされ、未知の生命体レギオンのディティールを含めて信じられないほどのビジュアル・イメージが展開される。特に、ここまで本編と特撮シーンが違和感なく融合した作品は日本映画としては初めてと言ってもよく、その完成度はハリウッドのＳＦＸをも凌いでいる。ストーリー面では、結局善玉なのか悪玉なのかがはっきりしないためにフラストレーションを起こしていた平成ゴジラを後目に、ガメラのキャラクターが徹底したヒーロー然として描かれており、それに伴うカタルシスと充足感は高い。クライマックスの自衛隊と共同戦線を行うガメラの姿や、戦いすんで飛び去るガメラに向かって敬礼する隊員の姿など目頭を熱くしない訳にはいかない。「こんな怪獣映画を見たかった」という前作に対して、本作は「こんな怪獣映画見たことない」という印象に尽きる。本作は映画としては初めて、日本ＳＦ大賞を受賞した。

【クレジット】

監督	金子修介	Shusuke Kaneko

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

製作総指揮	徳間康快			
プロデューサー	土川勉			
	佐藤直樹			
	南里幸			
脚本	伊藤和典			
撮影	戸澤潤一			
特撮監督	樋口真嗣			
怪獣デザイン	前田真宏			
	樋口真嗣			
視覚効果	松本肇			
美術	及川一			
造型	若狭新一			（群体レギオン）
編集	荒川鎮雄			
音楽	大谷幸			
音楽プロデューサー	木村敏彦			
主題歌	ウルフルズ	ULFULS		「そら」
特技・美術	三池敏夫			
造形	原口智生			
	品田冬樹			
特技・撮影	木所寛			
特技・編集	普嶋信一			
アクション	大橋明			
	吉田瑞穂			
	田村浩一			
	佐々木俊宣			
	秋山智彦			
	渡部佳幸			
	小林勇治			
	中田昌広			
助監督	片島章三			
出演	永島敏行		渡良瀬佑介（二等陸佐）	
	水野美紀		穂波碧	
	石橋保		花谷	
	吹越満		帯津	
	藤谷文子	Ayako Fujitani	草薙浅黄	
	川津祐介		野尻	
	沖田浩之		笹井	
	田口トモロヲ		地下鉄の運転手	
	大河内浩		札幌・大通指揮所の連隊長	
	梶原善		ビール工場の警備員	
	梅垣義明		札幌・機動隊小隊長	
	坂野友香		雪乃	
	田口浩正		銭湯の学生	
	船田走		防衛拠点・戦闘指揮所の第二部長	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

笹入舟作		防衛庁の幕僚	
真実一徳		仙台・監視拠点の連隊長	
養老孟司		北大獣医学部の教授	
徳間康快		内閣官房長官	
福留功男		ズームイン朝のキャスター	
螢雪次朗		ビール工場の大迫	
長谷川初範		佐竹一等陸佐	
渡辺裕之		防衛拠点・戦闘指揮所の第三部長	
ラサール石井	Lasarl Ishii	ＮＴＴ名崎送信所の職員	
角替和枝		穂波の母	
ベンガル	Bengaru	穂波の父	
小林昭二		３空団・武器小隊の先任空曹	
辻萬長		防衛拠点・戦闘指揮所の師団長	
鈴井貴之		避難命令を伝える広報車の職員	
安田顕		隕石落下の第一報を伝える自衛隊員	
大泉洋		地下鉄の乗客	（クレジットなし）
関谷亜矢子		臨時ニュースのキャスター	
藪本雅子		報道番組のキャスター	
前田亜季		仙台・爆心地の少女	
水本豊		現地レポーター	
今中麻貴		現地レポーター	
小松みゆき		現地レポーター	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.